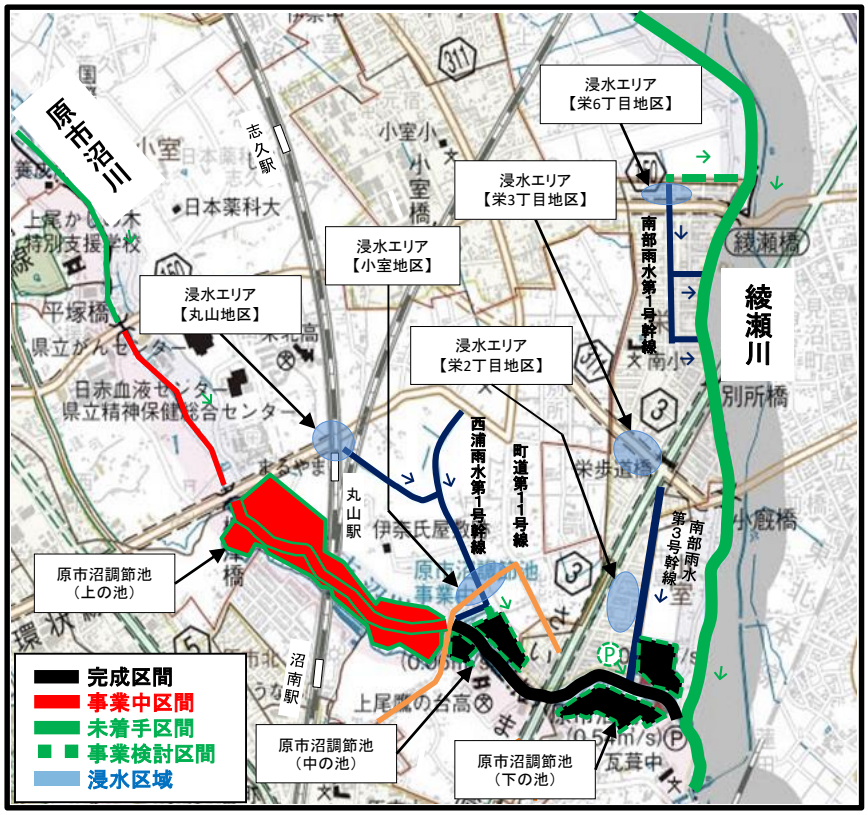
河川と下水道が連携して対策を行う取組（伊奈町）①

位置図



多発する浸水被害

平成25年台風26号
栄2丁目地内

綾瀬川・原市沼川の状況

綾瀬川・原市沼川合流部
伊奈町大字小室付近

連携施策

・（赤）：事業中、もしくはすぐに事業着手が可能な施策
・（緑）：検討の上、事業化を目指す施策

【栄地区・小室地区・丸山地区】

○現状・課題

（栄地区）
・地区内の各所で冠水が発生している。
・旧基準（S47～53）で整備された区画整理事業地内のため調整池が設置されていない。また、雨水幹線の勾配が緩く、綾瀬川への排水距離も遠いため、洪水時に水位が高い時間が長時間続く。このため、区域内の特に地盤が低い地区に浸水が発生する。

（小室・丸山地区）
・集中豪雨の度に道路冠水が起こっている。
・町道第１１号線が周辺に比べ低地となっており、水が集まりやすい。

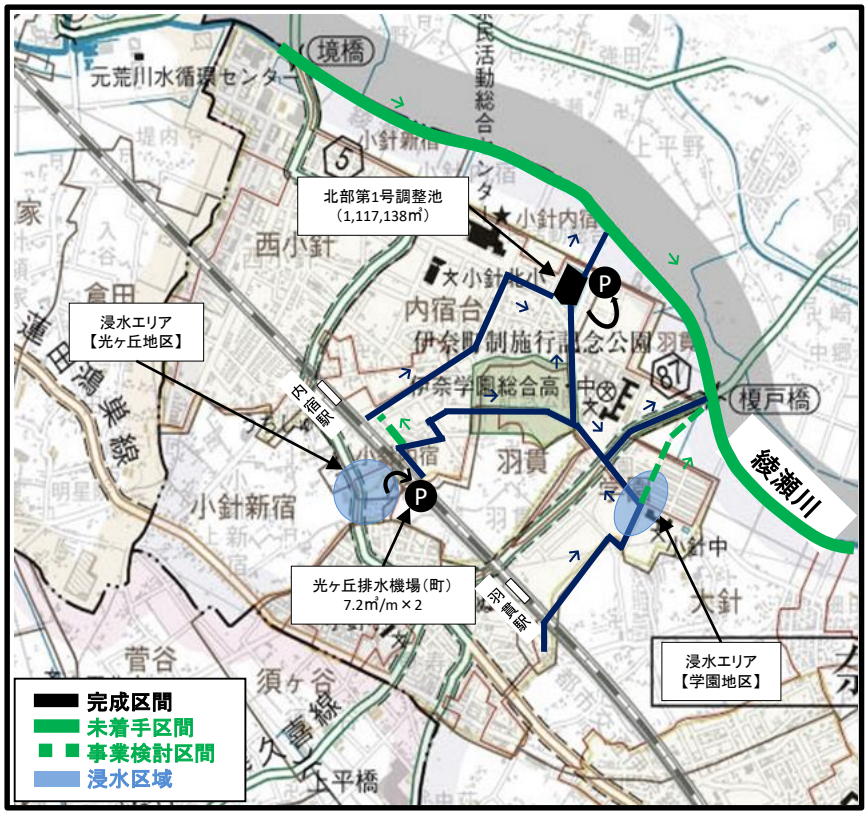
●施策

浸水エリア	コンセプト	県	町
全域	・綾瀬川の水位の低下 ・綾瀬川への流出の抑制	・綾瀬川の整備推進 ・原市沼川の整備推進	・雨水幹線への流入状況の調査 ・雨水流出抑制対策の実施
栄2・3丁目	原市沼調節池（下の池）活用	・内水受入容量の確保の検討	・南部第3号雨水幹線と原市沼川の合流点付近に堰の設置検討 ・内水ポンプの設置検討
栄6丁目	綾瀬川への内水排除の検討	・許容放流量の検討	・直接排水する新規管路の整備
小室・丸山	原市沼調節池（中の池）活用	・内水受入容量の確保の検討	・内水排除の管路整備

※その他全域で内水ハザードマップを活用した訓練等を推進

河川と下水道が連携して対策を行う取組（伊奈町）②

位置図



多発する浸水被害

平成27年6月豪雨
光ヶ丘地区

綾瀬川の状況

綾瀬川
伊奈町大字羽貫地内

連携施策

【光ヶ丘地区・学園地区】

・（赤）：事業中、もしくはすぐに事業着手が可能な施策
・（緑）：検討の上、事業化を目指す施策

〇現状・課題

（光ヶ丘地区）
・光ヶ丘排水機場から排水路を経由して排水しているが、洪水時は排水先水路も満水であり排水しきれない。
　そのため地形的に低地であり近隣地区の雨水が集水する地区において、浸水が発生している。

（学園地区）
・区画整理事業地域であるが、調整区域からの排水が流入しているため、浸水が発生している。

●施策

浸水エリア	コンセプト	県	町
全域	・綾瀬川の水位の低下 ・綾瀬川への流出の抑制 ・綾瀬川への内水排除の検討	・綾瀬川の整備推進 ・許容放流量の検討	・雨水幹線への流入状況の調査 ・雨水流出抑制対策の実施
光ヶ丘地区			・排水先雨水幹線の整備（管路のループ化）
学園地区			・排水する雨水幹線（バイパス管）の整備

※その他全域で内水ハザードマップを活用した訓練等を推進